東洋文庫の古典籍コレクション

03

東洋文庫について

03

- ◆東洋学(アジア全域を対象とする学問)の専門図書館、研究機関 ⇒1924年11月19日に岩崎久彌(1865-1955、三菱第3代社長)が設立
- ◆東洋学分野に特化した研究図書館としては国内最古最大とされる。
- ◆現在の蔵書数は100万冊をこえる。

蔵書の内訳

漢籍40%(※現代中国語書籍あわせて)、和書20%、洋書30%、 アジア諸言語(10%)

- ⇒久彌自身は和漢の古典籍を愛好・収集した。
 - 一方で、日本の学問発展のため、当時国内にまとまったコレクションがなかった西欧の貴重な資料を一括購入し、東洋文庫に寄贈した。 さらに、アジア研究における現地言語資料の重要性を見出し、 創設時からアジア諸言語資料も収集の範囲に加えた。

おもなコレクション ~モリソン文庫と岩崎文庫

03

モリソン文庫

- ◆東洋文庫の出発点であり、中核をなす洋書のコレクション
- ◆ジョージ・アーネスト・モリソン(1862-1920 医者、ロンドンタイムズ記者、中華民国政治顧問)が特派員・政治顧問として中国に滞在した約20年間に集めた2万4千冊もの書籍、地図、写真、絵画、パンフレット類
- ⇒1917年、3万5千ポンドで岩崎久彌が一括購入し、北京から日本へ輸送。

おもな蔵書・・・『東方見聞録』(約45種の刊本を収集)ほか、旅行記・探検記、銅版画・西洋古地図、図鑑など

おもなコレクション

~モリソン文庫と岩崎文庫

03

岩崎文庫

- ◆愛書家だった久彌の個人的な楽しみから始まった、和漢の古典籍 約3万8千冊のコレクション
- ◆東洋文庫所蔵の指定文化財(国宝5点、重文7点)のうち、 国宝5点、重文5点が岩崎文庫。 奈良時代~昭和初期までの貴重な書籍、文書ほか浮世絵など の絵画を多数含む。
- ⇒久彌は書誌学を全般的に学び、さらに専門家の助言を受けて、学術的、 文化的な重要性を意識してこれらを収集。
 - 日本の漢字文化の受容、国語・国文学の発展、印刷・出版の歴史に 関わる文献を系統立てて集めた。

03

◆国宝5点

- -『古文尚書』 唐時代 7-8世紀 書写
- ・『毛詩』 唐時代 7-8世紀 書写
- -『春秋経伝集解』 平安時代 12世紀頃 書写
- ・『文選集注』 平安時代 10-12世紀 書写
- •『史記 夏本紀•秦本紀』平安時代12世紀 書写

◆重要文化財5点

『礼記正義』 唐時代 7-8世紀 書写『論語集解』 鎌倉時代 1285年 書写『論語集解』 鎌倉時代 1315年 書写『古文尚書』 鎌倉時代 1330年 書写『楽善録』 宋時代 1229年刊(宋版)

⇒中世の古写本、古刊本

03

◆古活字版

勅版、駿河版・伏見版、直江版、高野版、嵯峨本 など ⇒岩崎久彌に収集の助言をしていた書誌学者・和田維四郎が、 古活字版に関心を寄せ、網羅的に集めて分類した。

◆奈良絵本•絵巻

※下記、URLのリンク先はいずれも東洋文庫画像データベース

・『しゃかの本地』 江戸時代前期写

http://124.33.215.236/gazou/2009/gazo2009_read.php?TGName=3_F_a_ro_10_01

•『菅家物語』 江戸時代前期写

http://124.33.215.236/gazou/gazo_read.php?bname=kankemonogatari_jou&TargetPage=1 &size=L&wd=

03

◆江戸時代の絵入り版本

菱川師宣絵本

- 『浮世続絵尽』 1682(天和2)年 現存が確認できる初版本は唯一
- ・『武者さくら』 1684(天和4)年頃 欠丁のある再印本だが3巻3冊そろう

◆狂歌絵本

※下記、URLのリンク先はいずれも東洋文庫画像データベース

・『春の曙』 葛飾北斎、喜多川歌麿/画 1796(寛政8)年

http://124.33.215.236/gazou/201111/3-F-a-HE-74/show201111.php?page=1&booktitle=%E6%98%A5%E3%81%AE%E6%9B%99

-『絵本纐纈染』 歌川豊国/画 1794(寛政6)年

http://124.33.215.236/gazou/2009/gazo2009_read.php?TGName=3_G_b_41_01



※下記、URLのリンク先はいずれも東洋文庫画像データベース

◆浮世絵

『伊勢物語 芥川』 鳥居清長 1781-89年(天明期)

http://124.33.215.236/toyo/meihinten/page/img_054.html

·『名所江戸百景』 歌川広重 1856-58(安政3-5)年

http://124.33.215.236/gazou/201104/meisyoedohyakkei/edohyakkei.html

◆袋絵

-『書物袋絵外題集』 18-19世紀(江戸中後期~明治初期)

http://124.33.215.236/gazou/201412/show201412saisyokukaiga.php??iPage=1&lstdir=(08) %E3%80%80%E6%9B%B8%E7%89%A9%E8%A2%8B%E7%B5%B5%E5%A4%96%E9%A1%8C%E9%9B% 86%E3%80%80%E4%B8%80&booktitle=%E6%9B%B8%E7%89%A9%E8%A2%8B%E7%B5%B5%E5%A4%96%E9%A1%8C%E9%9B%86%E3%80%80%E4%B8%80

研究と公開

03

◆研究

6部門13研究班(2022年3月時点)の体制で各課題に取り組むほか、 蔵書、保存修復、展示記録、研究の各データベースの構築・連携に 取り組んでいる。

超域アジア研究

超域アジア研究部門

総合アジア圏域研究班 現代中国研究班 現代イスラーム研究班

資料研究

資料研究部門

東アジア資料研究班

アジア諸地域の歴史・文化研究

東アジア研究部門

前近代中国研究班 近代中国研究班 東北アジア研究班 日本研究班

インド・東南アジア研究部門

インド研究班 東南アジア研究班

西アジア研究部門

西アジア研究班

内陸アジア研究部門

中央アジア研究班チベット研究班

現在の研究体制

研究と公開

03

◆展示

併設のミュージアムで企画展のほか、「名品展示」として所蔵の古典籍を 定期的に展示。

◆閲覧

東洋文庫の閲覧室は、従来は広く一般に向けて公開しているが、現在は 感染症対策として事前予約制を導入して利用者数を制限している。 閲覧時間も従来の9時30分~16時30分から10時~16時に短縮し、一日の 一人当たりの閲覧資料数にも上限(1日10点50冊以内)を設けている。 そのほか、入室前の除菌と体調チェック、閲覧者の十分な距離の確保 など、可能な限りの感染防止対策をとって閲覧事業を継続している。 閲覧のご案内・事前予約ページ↓

http://www.toyo-bunko.or.jp/library3/guidelines.html



